

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2002-330961(P2002-330961A)
【公開日】平成14年11月19日(2002.11.19)
【出願番号】特願2001-366017(P2001-366017)
【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 6/03

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

A 6 1 B 6/03 3 2 0 Y

A 6 1 B 6/03 3 5 0 U

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月29日(2004.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施例の基本構成を示すブロック図である。

【図2】

心電波形の説明図である。

【図3】

レトロスペクティブECGゲートの説明図である。

【図4】

レトロスペクティブECGゲートの説明図である。

【図5】

本発明の流れを示す図である。

【図6】

複数列検出器におけるレトロスペクティブECGゲートの説明図である。

【図7】

複数列検出器におけるレトロスペクティブECGゲートの説明図である。

【図8】

補間方法の説明図である。

【図9】

複数列検出器におけるレトロスペクティブECGゲートの説明図である。

【図10】

不連続投影データの説明図である。

【図11】

不連続投影データの説明図である。

【図12】

不連続領域の補間説明図である。

【図13】

本発明の一実施の形態になるマルチスライスX線CT装置の構成の概略を示す図である。

【図14】

上記本発明の X 線 CT 装置における投影データ形成装置の分割投影データ収集の一例を示す図である。

【図 15】

上記本発明の X 線 CT 装置における投影データ形成装置の分割投影データ収集の他の一例を示す図である。

【図 16】

やはり、上記本発明の X 線 CT 装置における投影データ形成装置の分割投影データ収集のさらに他の一例を示す図である。

【図 17】

上記本発明の X 線 CT 装置における投影データ形成装置と画像処理装置が行う処理の流れを示す図である。

【図 18】

上記図 17 で示される処理の詳細を説明する図である。

【図 19】

やはり、上記図 17 で示される処理の詳細を説明する図である。

【図 20】

やはり、上記図 17 で示される処理の詳細を説明する図である。

【図 21】

本発明の X 線 CT 装置における投影データ形成装置での、任意の心時相をもった分割投影データ収集の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 10 X 線 CT 装置
- 11 算出ユニット
- 12 被検体
- 13 処理装置
- 80, 81 検出器の軌跡
- 202 スキャナガントリ部
- 206 心電計
- 207 投影データ形成装置